

平成23年度

事業概要



平成23年4月

北陸地方整備局  
松本砂防事務所

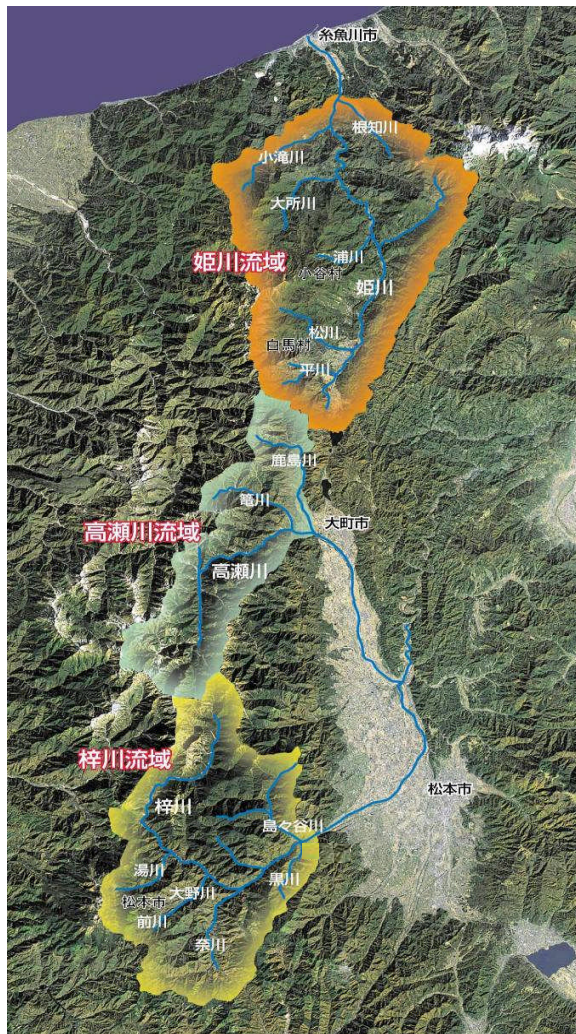
## 北アルプス地域を土砂災害から守る松本砂防事務所

松本砂防事務所は、北アルプス(飛騨山脈)の山なみに沿って、梓川、高瀬川、姫川の3つの河川の流域で砂防事業を行っています。

3,000m級の山が連なる北アルプスとその周辺地域は日本を代表する山岳観光地ですが、同時に土石流・地すべり・がけ崩れなどの土砂災害が多い地域でもあります。

こうした災害から生命・財産を守るのが、松本砂防事務所の仕事です。

### 管内の3流域



#### 梓川流域

流路延長：50km

平均河床勾配：1/20

流域面積：559km<sup>2</sup> (新淵橋上流)

#### 高瀬川流域

流路延長：31km

平均河床勾配：1/13

流域面積：350km<sup>2</sup> (高瀬橋上流)

#### 姫川流域

流路延長：46km

平均河床勾配：1/16

流域面積：691.2km<sup>2</sup> (山本橋上流)

# 〔 1 〕 平成23年度事業計画

事業区分		実施箇所数					事業費 (千円)
		継続	新規	再開	計		
					うち完成		
信濃川上流	直轄砂防事業	13	1	0	14	0	2,082,000
	(直轄砂防)	9	1	0	10	0	1,433,000
	(直轄火山)	4	0	0	4	0	649,000
姫川	直轄砂防事業	12	2	0	14	0	3,257,000
	(直轄砂防)	10	1	0	11	0	2,332,000
	(直轄火山)	2	1	0	3	0	925,000
事業費計							5,339,000

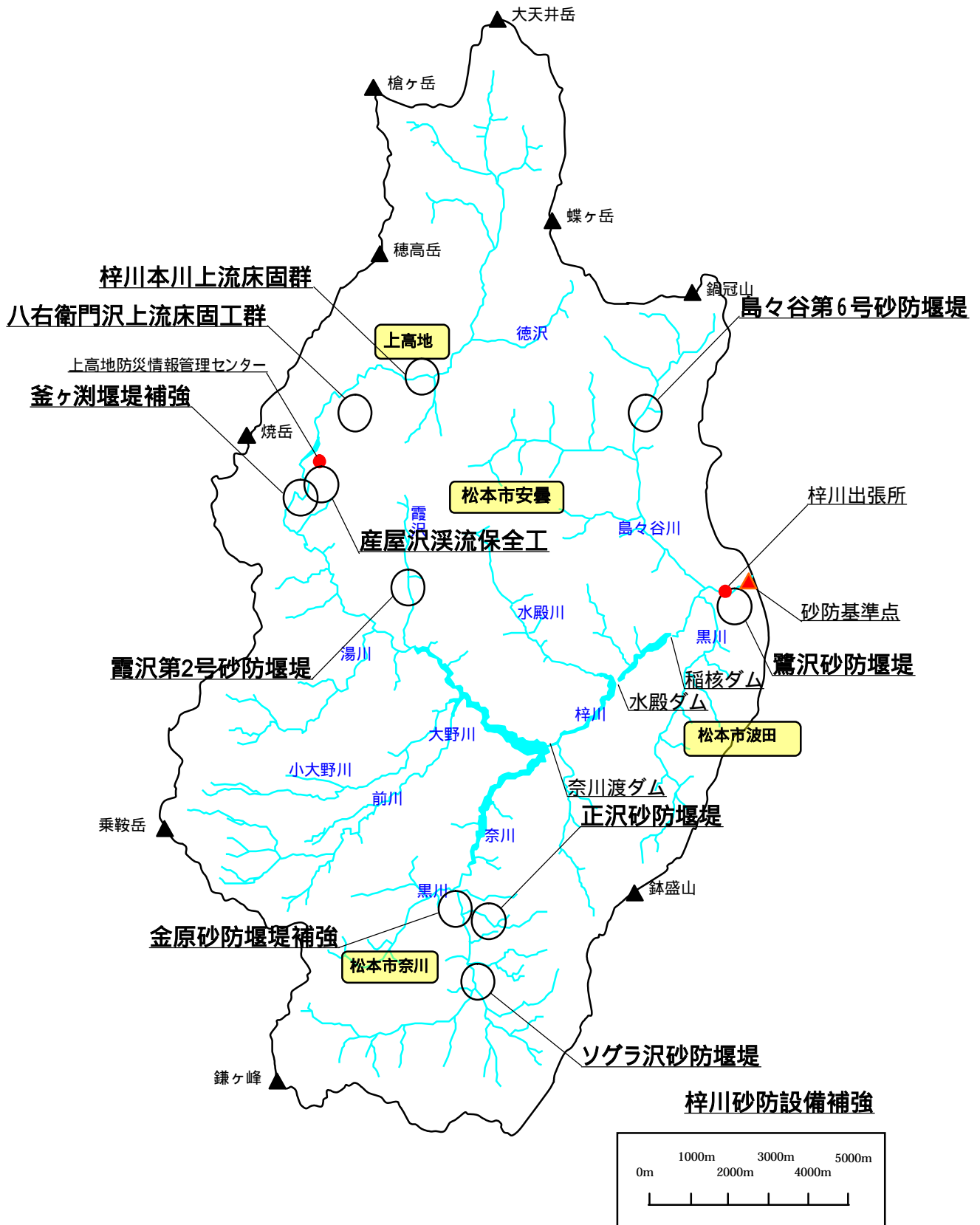
業務取扱費を除く

河川名	溪流名	市町村名	事業箇所名	全体事業内容	担当出張所等
梓川	梓川	松本市	梓川本川上流床固工群	床固工1基、帯工9基、護岸工	建設専門官
	八右衛門沢		八右衛門沢上流床固群	床固工1基、砂防堰堤2基、導流工	
	産屋沢		産屋沢溪流保全工	砂防堰堤1基、導流工	
	梓川		釜ヶ淵堰堤補強	天端補強工、本堤基礎補強工、法面对策工	
	霞沢		霞沢第2号砂防堰堤	砂防堰堤1基	梓川出張所
	島々谷川		島々谷第6号砂防堰堤	砂防堰堤1基	
	奈川(曾倉沢)		ソグラ沢砂防堰堤群	砂防堰堤2基	
	奈川		金原砂防堰堤補強	副堰堤1基、護岸工、グラウト工	
	奈川(正沢)		正沢砂防堰堤	砂防堰堤1基	
	湯川		梓川砂防設備補強	砂防堰堤工	
鷺沢	鷺沢砂防堰堤	砂防堰堤1基			
高瀬川	鹿島川	大町市	鹿島川砂防林	床固工1基、導流堤8基、護岸工	高瀬川出張所
	籠川		高瀬川砂防設備補強	砂防堰堤工	
			日向山床固工群	床固工9基、帯工3基、護岸工	
姫川	平川	白馬村	平川溪流再生工	階段工10箇所、魚道工12箇所、護岸工	姫川出張所
			姫川砂防設備補強	砂防堰堤工	
	松川		北股第2号砂防堰堤補強	本堤補強、副堰堤補強、護岸工	
			岩岳砂防堰堤	砂防堰堤1基	
	浦川	小谷村	金山沢溪岸工	山腹工、堰堤補強工、溪岸工	建設監督官 (姫川)
			浦川上流砂防堰堤群	砂防堰堤3基	
			浦川砂防設備補強	砂防堰堤工	
	姫川	姫川	糸魚川市	葛葉山腹工	法枠工、ロックボルト工
				葛葉下流山腹工	法枠工、落石防護網工
		大所川		大所第9号砂防堰堤	砂防堰堤1基
大所第9号上流砂防堰堤				砂防堰堤1基	
小滝川		小滝第1号砂防堰堤		砂防堰堤1基	
	小滝瀬野田砂防堰堤	砂防堰堤1基			
根知川	中股第3号砂防堰堤	砂防堰堤1基			

4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

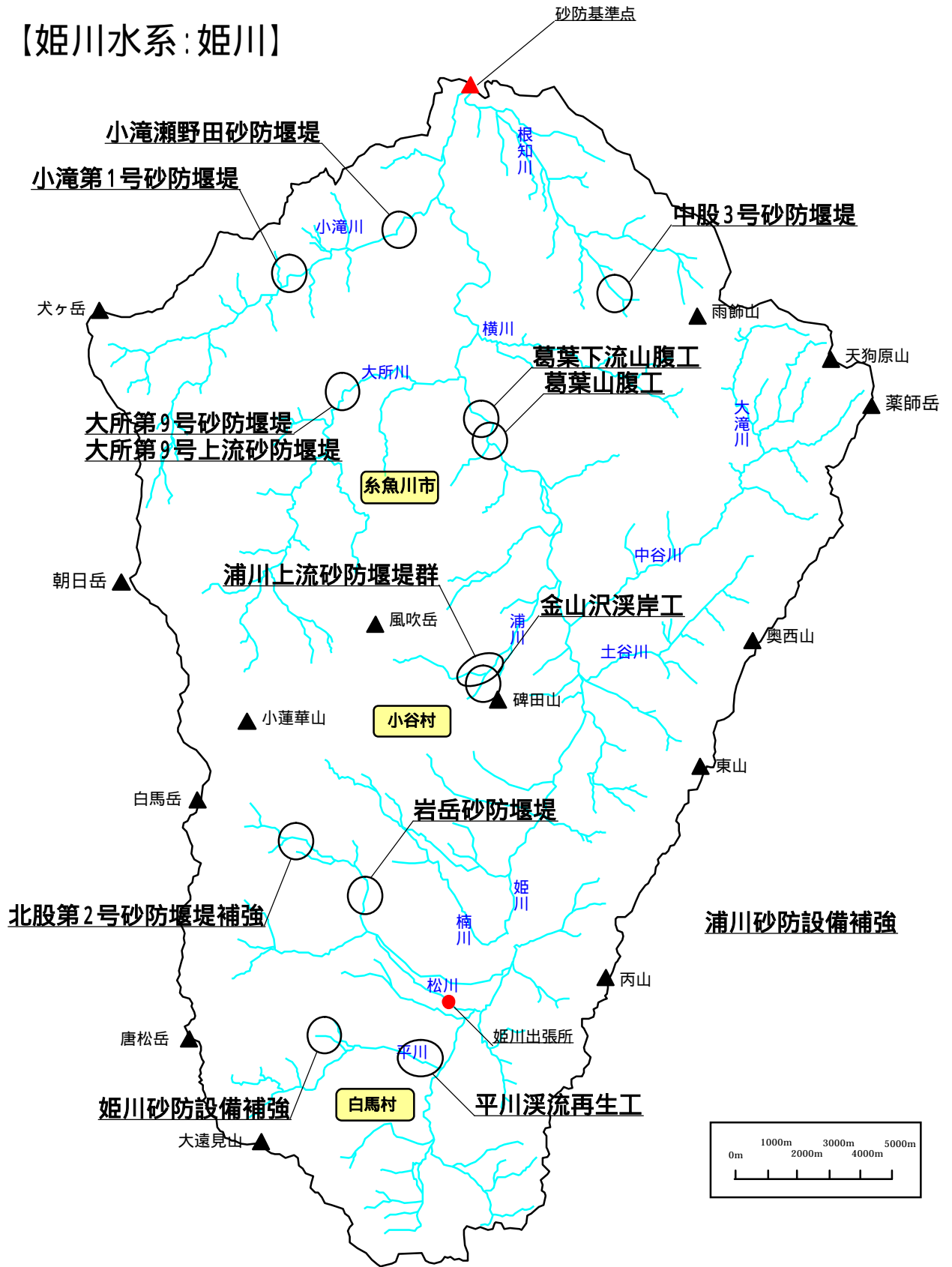
## 〔 2 〕 平成23年度 実施予定箇所位置図

【信濃川水系：梓川】





# 【姫川水系：姫川】



### 〔 3 〕 平成23年度の主要事業

( )内は施工地

1.産屋沢溪流保全工事業の推進(長野県松本市)	7
2.ソグラ沢砂防堰堤群事業の推進(長野県松本市)	8
3.鹿島川砂防林事業の推進(長野県大町市)	9
4.日向山床固工群事業の推進(長野県大町市)	10
5.浦川上流砂防堰堤群事業の推進(長野県北安曇郡小谷村)	11
6.葛葉下流山腹工事業の推進(新潟県糸魚川市)	12

しなのがわじょうりゅう  
**信濃川上流水系直轄砂防事業（産屋沢渓流保全工）**  
 うぶやさわけいりゅうほぜんこう  
 ながのけんまつもとし  
**長野県松本市**

**事業の概要**

産屋沢は霞沢岳を水源とし、河床勾配が源流部で1/1.5、下流部が1/5と非常に急峻な沢であることから、土石流が度々発生し、河道内には巨礫を含む大量の土砂が堆積しています。平成20年7月豪雨時に土石流が発生し、県道上高地公園線（産屋沢橋）に流出しました。上高地公園線は上高地にアクセスする唯一の路線であり、土石流対策として床固工群、導流工、砂防堰堤を整備します。

**整備効果**

産屋沢を整備することにより、渓流内の土砂の移動を防止するとともに、上流からの流出してきた土砂を捕捉し、保全対象の安全が確保されます。

**事業着手**

平成23年度

**平成23年度の事業内容**

砂防堰堤施工にむけて工事用道路の整備を推進します。



平成20年7月28日の出水では土石流の一部が産屋沢橋を乗り越えた。



しなのがわじょうりゅう そぐらさわさぼうえんていくん  
**信濃川上流水系直轄事業(ソグラ沢砂防堰堤群)**  
 ながのけんまつもとし  
**長野県松本市**

**事業の概要**

ソグラ沢は土石流危険渓流であり、昭和58年9月の台風によって松本市奈川(旧奈川村)が壊滅的な被害を受けたときには土石流が発生し、地域の経済道路である主要地方道奈川・木曾線及び集落が被災した渓流です。昭和58年災害規模の土石流災害から下流の奈川・木曾線及び集落を保全するために、砂防堰堤を整備するものです。

**整備効果**

ソグラ沢に砂防堰堤が整備されることによって、昭和58年災害規模の土砂災害から地域の安全が確保されます。

**事業着手**

平成19年度

**平成23年度の事業内容**

ソグラ沢第1号砂防堰堤の整備を推進します。



ソグラ沢全景



位置図



奈川合流部

しなのがわじょうりゅう かしまがわさぼりん  
**信濃川上流水系直轄砂防事業(鹿島川砂防林)**  
ながのけんおおまちし  
**長野県大町市**

**事業の概要**

鹿島川砂防林計画地点は、河床勾配が比較的緩く、川幅も広く溪畔林が繁茂しているため、これらの敷地と樹林の粗度を有効活用することで、遊砂地として大きな効果が期待できます。そのため、ハード対策（施設整備）を最小限にとどめ、現況の河川地形の遊砂地と溪畔林を砂防林として有効利用することで土砂災害防止と自然環境の保全を両立させるとともに、地域の方々との砂防林内の利活用計画や砂防林管理方法等について意見交換を行いながら事業を推進します。

**整備効果**

砂防林の整備により、溪畔林の遊砂地空間を活用した土砂流出調節を行うことができ、昭和44年出水で土砂災害が発生した下流地域の地域住民に対し、土砂災害への安全が確保されます。

**事業着手**

平成10年度

**平成23年度の事業内容**

砂防林事業及び河床低下を防ぐため床固工の整備を推進します。



しなのがわじょうりゅう ひなたやまとこかためこうぐん  
**信濃川上流水系直轄砂防事業(日向山床固工群)**  
 ながのけんおおまちし  
**長野県大町市**

**事業の概要**

籠川流域の地質の大部分は花崗岩で風化しやすく、上流の山稜は森林が育ちにくい岩が露出しており、山腹崩壊や溪岸侵食が進んでいます。さらに温泉作用による風化も加わり、降雨のたびに土砂流出を繰り返しています。

籠川の下流域は、1/25～1/20河床勾配を持つ急流河川であるため、乱流による局所洗掘が大きく、河床低下や縦横侵食起こしているため、不安定土砂が堆積しています。更に、左岸部の県道扇沢大町線は河床との比高差が小さいため、土砂流出により県道が被災すると観光客が上流域に閉じこめられる危険性があります。また、下流域には人口密集地である大町市街地が存在するため、大量の土砂流出防止及び河床の安定を図るため、床固工群の整備を推進します。

**整備効果**

床固の整備より河床不安定土砂の再移動が防止されるとともに、流路が安定されるため、下流域の保全対象の安全が確保されます。

**事業着手**

平成20年度

**平成23年度の事業内容**

床固工の整備を推進します。



日向山床固工群の全景



位置図



籠川道路の被災状況(S44)

ひめかわ

うらかわじょうりゅうさぼうえんていぐん

# 姫川水系直轄砂防事業（浦川上流砂防堰堤群）

ながのけんきたあずみぐんおたりむら  
長野県北安曇郡小谷村

## 事業の概要

浦川流域には、明治44年8月の稗田山大崩壊時に発生した大量の崩壊土砂が現在も大量堆積し、大雨等により土石流となって下流に流出し、下流部に被害を発生させています。また、当該流域は河床変動が著しく、局所的な河床低下や河岸侵食が見られます。

現在、浦川上流部である唐松沢においては特に荒廃が進み、異常堆砂の状況を呈しています。また、浦川中流域においては整備が進み、これ以上の整備率の向上が望みにくい状況となっています。

以上により、全体としては依然として整備率の低い浦川の整備を進めるため、上流域に砂防施設を配置して効果的な土砂整備の進捗をはかるものです。

## 整備効果

土砂整備を進めることにより、下流の集落が土石流等の土砂流出による被害から保全されます。

## 事業着手

平成23年度

## 平成23年度の事業内容

浦川上流域に浦川上流砂防堰堤群の整備を促進します。



浦川上流砂防堰堤群全景



位置図



上流の荒廃状況

ひめかわ くずはかりゅうさんぶくこう  
**姫川水系直轄砂防事業(葛葉下流山腹工)**  
にいがたけんいといがわし  
**新潟県糸魚川市**

**事業の概要**

姫川本川の葛葉地区は、平成7年7月11日から12日の梅雨前線豪雨による姫川の増水時に、葛葉峠左岸山腹斜面の直下が渓岸侵食を受け、約12万m<sup>3</sup>もの土砂が下流に流出しました。

この土砂流出で葛葉地区下流域は河床が最大約10m上昇し、堤防上を越水・土砂氾濫が発生し、姫川温泉や国道148号、JR大系線に甚大な被害を及ぼしました。このため、災害防止のため、山腹工の施設整備により、斜面の安定を図ることが急務となっています。

**整備効果**

- 1) 斜面の安定化を図り、姫川流域の土砂生産を抑制することで、下流域の姫川温泉、国道148号、JR大系線等の保全対象への土砂災害を軽減する。
- 2) 床固工、護岸の施工時及び管理時の安全性を確保する。
- 3) 裸地状態の左岸山腹斜面の自然環境を回復させる。

**事業着手**

平成21年度

**平成23年度の事業内容**

葛葉下流山腹工の早期完成にむけて事業を推進します。

**葛葉山腹工**

位置図

崩壊したJR大系線と国道148号

姫川

被災直後 H7.7.13

姫川温泉

安全対象の状況(H17.5)

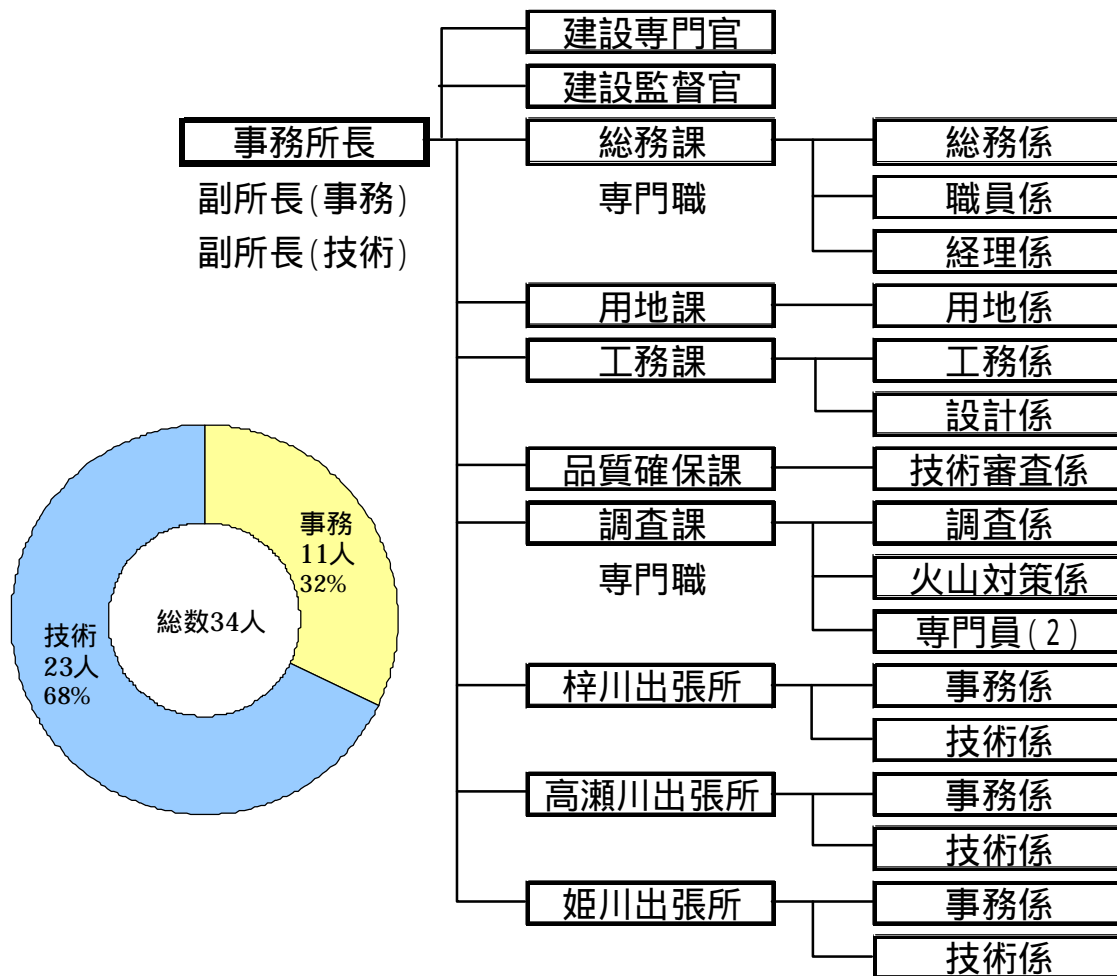
過去への被災状況(H7.7.12梅雨前線豪雨)

崩壊箇所

崩壊斜面の状況

進行する斜面崩壊

H20年9月  
工事で設置した仮設の落石防護柵の破損状況



-砂防事業に関するご意見、ご相談はこちらへ-

**【事業全般】**

松本砂防事務所 〒390-0803 松本市元町1-8-28 0263-33-1115

**【梓川での砂防工事】**

梓川出張所 〒390-1501 松本市安曇124-10 0263-94-2344

**【高瀬川での砂防工事】**

高瀬川出張所 〒398-0002 大町市大字大町5032-1 0261-22-0650

**【姫川での砂防工事】**

姫川出張所 〒399-9301 北安曇郡白馬村大字北城6929-2 0261-72-2254

**【焼岳での砂防工事】**

上高地防災情報管理センター  
〒390-1516 松本市安曇上高地国有林4468 0263-95-2014

-メールでのお問い合わせはこちらへ-

e-mail : matumoto@hrr.mlit.go.jp 担当課 (調査課)